

令和6年 観光客推定について

1. 令和6年(1月～12月)の観光客推定表の主要数値

	令和6年	令和5年	前年比
観光客推定数	600万3,900人	555万5,500人	+8.1%
外国人観光客推定数	53万5,300人	21万6,100人	+147.7%
観光施設入込客数	304万6,200人	272万8,600人	+11.6%
宿泊者数(市内全体)	260万7,900人	237万8,800人	+9.6%
宿泊者数(道後)	76万9,300人	77万6,100人	▲0.9%
観光客推定消費額	843億8,384万円	672億9,323万円	+25.4%

2. 令和6年の特徴

- ①道後温泉本館の全館営業再開、松山空港発着の国際定期路線の運航再開や増便で、旅行需要が増えるなどし、観光客推定数は600万人台まで増加。
- ②外国人観光客推定数は、これまで最も多かった令和元年の22万8,100人を大幅に上回り、過去最高を更新。
- ③市内全体の宿泊者数は、前年より増え、コロナ禍前の令和元年とほぼ同水準。道後地区は令和元年(76万2,600人)を上回る。
- ④観光客推定消費額は、観光客数や消費単価の増加で、800億円を超え、経済活性化に寄与。
- ⑤交通機関別の利用割合は、鉄道、航空、郊外・貸切バスなどが前年より増え、船舶と自家用車は減る。※昨年に引き続き、近距離より都市部からの旅行が増えていると分析。
また、国際線の運航再開や増便で、国際線の利用者数が大きく増加。
(R6:22万4,000人 R5:6万3,800人)

(万人)
(億円)

(各指標の推移)

